

がん対策に関する施策の 令和5・6年度 実施状況



調布市子宮頸がん検診推進キャラクター
きゅうちゃん

令和7年9月

調布市 福祉健康部健康推進課

1 情報の収集・提供等（第7条関係）



- 調布市健康ガイドの発行 【配布時期】令和6年3月（令和5年度） 令和7年3月（令和6年度）
当該年度の健（検）診や予防接種の内容や日程・健康相談・健康情報などを記載した「調布市健康ガイド」を作成し、全戸配布した
- 調布FM「ひとくち健康メモ」の放送（がんに関連するもの） 【実施回数】2回（令和5年度） 2回（令和6年度）
コミュニティFMで、がんや検診受診勧奨に関する講話を放送した
- 広報紙「健康な暮らしのために」の発行 【発行回数】12回 がんに関連する記載は8回（令和5年度）
健康情報を記載したチラシを作成した ※令和6年度からはがん通信等による広報へ変更
- 市ホームページ・テレビ等を使った啓発
- がん検診についての啓発
 - ①がん検診の種類・特徴などを記載した文書を受診券送付時に同封した
 - ②「今からはじめる健康教育（学童編）」において、保護者にむけてチラシで講座内容を報告するとともに、がん検診の周知を行った※学童クラブを利用している児童を対象として、年度により、違ったテーマで健康づくりに関する情報を提供する体験型講座
- 健康医療情報コーナーの設置（中央図書館）
がん情報のリーフレットや市で発行している健康ガイド等の配布、及びがんに関する資料の提供を行った。



1 情報の収集・提供等（第7条関係）

●年度別状況

取組内容	令和3年度 （実績）	令和4年度 （実績）	令和5年度 （実績）	令和6年度 （実績）	令和7年度 （取組状況）
調布市健康ガイドの発行	令和4年3月全戸配布	継続 令和5年3月全戸配布	継続 令和6年3月全戸配布	継続 令和7年3月全戸配布	継続 官民連携により 内容をリニューアルし 令和8年3月全戸配布予定
調布FM 「ひとくち健康メモ」ほか	ラジオでの周知 がん情報2回	継続 3回	継続 2回	継続 2回	継続
広報紙 「健康な暮らしのために」	チラシ形式の啓発媒体で の周知 がん情報掲載7回	継続 8回	継続 7回	官民連携による チラシ形式の啓発媒体で の周知 「がん通信」全戸配布 4回	継続 「がん通信」全戸配布 3回予定
市ホームページ・テレビ等 を使った啓発	市ホームページ等で各種 の情報提供を実施	継続	市ホームページを リニューアルし、 がんの情報提供を実施	がんの情報提供を 継続 実施	継続
がん検診についての啓発					
がん検診の周知	受診券送付時に 啓発文書同封	啓発文書同封 継続	啓発文書同封 継続	啓発文書同封 継続	啓発文書同封 継続
	継続 保護者向け報告とともに、 がん検診の周知を実施	継続	継続	継続	調布市生涯学習出前講座 のメニューとして 継続実施
健康医療情報コーナー ※中央図書館に設置	がん情報のリーフレット・参考 資料の閲覧コーナーを設置	継続	継続	継続	継続

2 がん教育（第8条関係）



- 今から始める健康づくりシリーズ（体験型講座）

がんなどの予防についての講座を実施

- 集団検診会場での講話

胃がん集団検診会場において、ブレストアウェアネスに関する講話を実施

- 今から始める健康づくり教室（親子編）

市内保育園・幼稚園で健康教育を実施し、女性がんや子宮頸がんの啓発と検診の周知を行った

※今から始める健康づくり教室（親子編）：保育園・幼稚園で、保護者（または親子）にむけて、生活習慣やがん予防、検診の必要性について伝える講座

※実績は令和5年度，6年度事務報告書を参照

- 防煙教育 【実績】市立小学校3校，中学校2校（令和5年度） 市立小学校6校，中学校0校（令和6年度）

児童・生徒を対象に，調布市医師会・調布市歯科医師会・調布市薬剤師会や市民団体の協力により，たばこについて，がんを含めた健康や成長発達に影響することの講義を行った。

（調布市医師会・歯科医師会・調布市薬剤師会・調布タバコ対策ネットワーク）

- アフラックと連携したがん教育 【実績】市立中学校4校（令和5年度） 市立中学校4校（令和6年度）

生徒を対象に，がん経験者から体験談を通したいのちの大切さ，検診の重要性などについて講義を行った。（教育部指導室）

2 がん教育（第8条関係）



●年度別状況

取組内容	令和3年度 (実績)	令和4年度 (実績)	令和5年度 (実績)	令和6年度 (実績)	令和7年度 (取組状況)
今から始める健康づくり教室 (親子編) ※保育園・幼稚園で実施する健康教育の中で実施	女性がんの啓発やがん検診周知 対面 6園 書面 21園	継続 対面 9園 書面 11園	継続 対面 18園 書面 11園	継続 対面 18園 書面 1園	調布市生涯学習出前講座のメニューとして継続実施
防煙教育	調布市医師会・歯科医師会・薬剤師会・市民団体の会員等からたばこの影響に関する授業を実施 対面 小学校3校 中学校1校 (深大寺・第一・北ノ台小, 第六中)	継続 対面 小学校4校 中学校1校 (深大寺・上ノ原・若葉・北ノ台小, 第八中)	継続 対面 小学校3校 中学校2校 (深大寺・上ノ原小・石原小, 第三・第八中)	継続 対面 小学校6校 中学校0校 (第一・第三・深大寺・石原・上ノ原・北ノ台小)	継続
アフラックと連携したがん教育	新規 がん経験者から体験を踏まえた講演を実施 対面 中学校4校 (調布・第五・第七・第八中)	継続 対面 中学校4校 (神代・第三・第四・第六中)	継続 対面 中学校4校 (調布・第五・第七・第八中)	継続 対面 中学校4校 (神代・第三・第四・第六中)	継続

●アフラックと連携したがん教育

生徒を対象に、がん経験者から、体験談を通した「いのち」の大切さや検診の重要性などを伝える講演を実施

講師：岸田 徹氏（NPO法人がんノート代表理事）

<御自身の体験談から> 自身が経験した「がん」についていのちの大切さ、早期発見（検診の重要性）ご家族にもぜひ伝えてほしい



3 がん予防のための取組（第9条関係）

●ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチン接種

子宮頸がん予防のためのワクチン接種。国は平成25年から積極的勧奨を見合わせていたが，令和4年4月から個別勧奨を再開した。

●肝炎ウイルス検診

がんの原因の多くを占めるB型・C型肝炎の発見と治療のため，40歳以上の方を対象とした，B型及びC型肝炎の感染の有無を確認する検査を実施した。

●胃がんリスク検査

胃がんになりやすいとされている，ヘリコバクター・ピロリ菌感染の発見と治療のため40歳～49歳を対象に，感染の有無を確認する検査を実施した。

●禁煙相談

禁煙希望者又はその家族を対象に，医師が個別に問診・禁煙治療の内容説明などを行った。

●今から始める健康づくり教室（学童編）

学童クラブを利用している児童を対象として，令和5年度は「たばこ」をテーマに，煙の有害性や煙を吸ったらどうなるのか等について，DVDや模型を使用し，クイズや実験を交えながら，身体に及ぼす影響等について講話や実験を行った。令和6年度は「お口の健康」をテーマに実施

●今から始める健康づくり教室（親子編）（再掲）

●受動喫煙ゼロの店登録（再掲）

実績は令和5年度，6年度事務報告書を参照



4 受動喫煙防止の施策の推進（第10条関係）

●調布市受動喫煙防止条例の周知啓発

令和元年7月1日に施行した調布市受動喫煙防止条例をより広く知ってもらうための広報活動

①チラシの全戸配布

受動喫煙防止のためのチラシを作成し全戸配布した。

②喫煙マナーアップ・受動喫煙防止キャンペーン

環境政策課と共同で、京王線各駅における清掃活動等を通じた周知活動を実施した。

③ポスター・市報・ホームページ・テレビ広報等による広報活動を実施したほか、令和6年5月に世界禁煙デーに合わせた周知を実施。

●路上等喫煙禁止区域の指定と周知

公共性が高い場所や、受動喫煙の影響が大きい児童が利用する施設と接する路上等を喫煙禁止区域に指定し、周知を行った。

①市内9駅周辺を路上等喫煙禁止区域とし、定期的にパトロールを行い、周知啓発に努めた。令和4年10月からは調布駅

周辺で夜間パトロールも開始した。（指定・周知：福祉健康部健康推進課，パトロール：環境部環境政策課）

②市立小学校通学路での喫煙を控えるよう電柱に啓発用巻き看板を掲示した。（教育部学務課）

③保育園，小・中学校などの児童福祉施設と接する路上を禁煙とし，表示した。

④市立施設を原則敷地内禁煙として，掲示にて周知した。

●受動喫煙に関する庁内連絡会

受動喫煙防止対策を庁内連携により推進していくため，関係各課及びタバコ対策アドバイザーを構成員とした連絡会を実施した。

実績は令和5年度，令和6年度の事務報告書を参照



4 受動喫煙防止の施策の推進（第10条関係）

●受動喫煙ゼロの店登録

店舗内禁煙や敷地内禁煙を実施している飲食店の登録制度。登録店に禁煙ステッカーを配布し、市のホームページで紹介した。

●受動喫煙・喫煙防止に関する啓発

今から始める健康づくり教室（親子編・学童編）（再掲）

●年度別状況（啓発活動）

取組内容	令和3年度 （実績）	令和4年度 （実績）	令和5年度 （実績）	令和6年度 （実績）	令和7年度 （取組状況）
調布市受動喫煙防止条例の周知啓発 令和元年7月1日に施行した条例をより広く知ってもらうための広報活動					
チラシの作成・ 全戸配布	継続 1回(11月)	継続 1回(11月) ※令和5年4月配布分も作成	拡充 2回(4・10月)	継続 1回(2月)	継続
喫煙マナーアップ・受動 喫煙防止キャンペーン	市内9駅周辺の清掃活動等 を通じた周知を実施 5日間実施 (11/15-19 平日)	継続 5日間実施 (11/16-22 平日)	継続 5日間実施 (11/15-21 平日)	継続 5日間実施 (11/13-19 平日)	継続
ポスター・市報・市ホーム ページ・テレビ広報等 での周知	実施	継続	継続	継続	継続
取組の発信	—	—	厚生労働省 「健康寿命をのばそう！ア ワード」 受賞	5月の世界禁煙デーに合わ せ調布駅前で周知を実施 東京都医師会主催イベント にて取組を講演(オンライン)	継続 5月の世界禁煙デーに合わ せトリエ京王調布A館地下1 階コンコース内で周知を実 施

4 受動喫煙防止の施策の推進（第10条関係）



●喫煙マナーアップ・受動喫煙防止キャンペーン

市内各駅周辺の清掃活動等を通じた周知・啓発活動を実施。



●厚生労働省「健康寿命をのばそう！アワード」受賞

第12回健康寿命をのばそう！アワードの生活習慣病予防分野にて厚生労働省健康・衛生局長賞を受賞。

取組名 「誰もが健康に暮らせるまち調布を目指す～関係団体と連携しタバコの煙から市民を守る～」



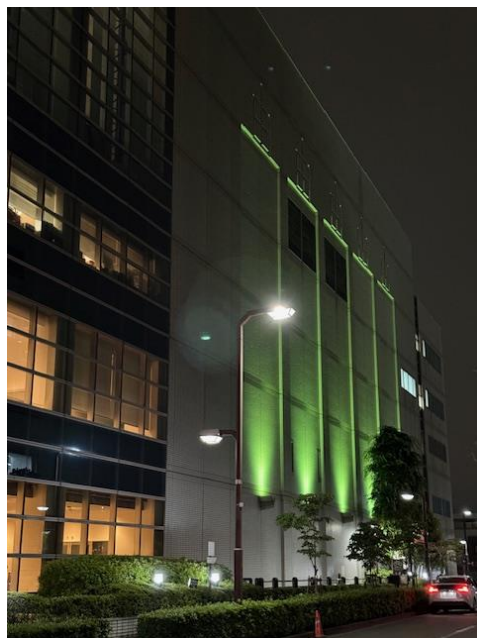
4 受動喫煙防止の施策の推進（第10条関係）



【令和6年度】

●世界禁煙デーに合わせた周知の取組

世界禁煙デー当日に調布駅前でのキャンペーン活動や、文化会館たづくりのライトアップによる周知・啓発を実施



【令和6年度】

●東京都医師会主催イベントで取組発表

公益社団法人東京都医師会・禁煙推進企業コンソーシアムが主催する2024年世界禁煙デーオンラインイベントにおいて、調布市の取組を紹介。

講演テーマ 「関係団体と連携した調布市受動喫煙防止条例の取組」



4 受動喫煙防止の施策の推進（第10条関係）



●全戸配布啓発用カラーチラシ

▼令和2年度

▼令和3年度

年に一回、受動喫煙防止啓発用カラーチラシを市内全戸に配布。

令和4年度からは、「ナッジ理論」的なアプローチを活用し、市民に関心を持っていただける内容で制作した。

- ・令和4年度：クイズ
- ・令和5年度：クロスワードパズル
- ・令和6年度：謎解き

▼令和4年度

▼令和5年度

▼令和6年度



4 受動喫煙防止の施策の推進（第10条関係）

●年度別状況（具体的対策）

取組内容	令和3年度 (実績)	令和4年度 (実績)	令和5年度 (実績)	令和6年度 (実績)	令和7年度 (取組状況)
路上等喫煙禁止区域の指定と周知 公共性が高い場所や、受動喫煙の影響が大きい児童が利用する施設と接する路上等を喫煙禁止区域に指定し、周知を実施					
路上等喫煙禁止区域 【健康推進課・環境政策課】	市内9駅周辺 定期的なパトロールによる周知・啓発	拡充 調布駅周辺の夜間パトロール開始	継続	継続	継続
市立小学校 通学路 【学務課】	喫煙を控えるよう 通学路に電柱巻き看板を設置	継続	継続	継続 通学路の電柱巻き看板を更新	継続
児童福祉施設と接する路上 (保育園・学校等) 【各所管課等】	施設に接する道路上を禁煙 看板等掲示・周知	継続	継続	継続	継続
市立施設の敷地内 【各所管課】	原則敷地内禁煙とし、周知	継続	継続	継続	継続
公園等 【緑と公園課】	公園は原則禁煙 看板等掲示・周知	継続	拡充 緑地・緑道・崖線も喫煙禁止区域に設定	継続	継続
受動喫煙防止プレートの作成・配布	—	— 私有地に掲示可能なプレート看板を作成	新規 プレートの配布開始 約200枚 配布	継続 プレートの配布 約150枚 配布	継続
受動喫煙に関する庁内連絡会	関係課会議実施 3回 (対面2回, WEB1回)	継続 2回 (対面1回, WEB1回)	継続 対面2回	継続 対面2回	継続
受動喫煙ゼロの店登録 (年度未登録件数)	80店舗	継続 80店舗	継続 70店舗	継続 68店舗	継続

4 受動喫煙防止の施策の推進 (第10条関係)



●路上等喫煙禁止区域

市内各駅周辺の定期的なパトロール



●公園・緑地・緑道等の掲示



●通学路の啓発用巻き看板

令和6年度に一斉更新



●受動喫煙防止プレート

禁止区域以外のマンションや戸建て住宅向け



5 がん早期発見の取組（第11条関係）



●各種がん検診等の実施

各種健康診査

下記についての問い合わせ・申込みは ☎042-441-6100へ

感染症の拡大や天候などが予測され、日程が変更または中止になる場合は、市HPにてお知らせします。

※対象者の年齢は令和8年3月末年齢です

個別通知 がん検診等（今年度35・40・45・50・55・60歳以上になる方）

●健（検）診種類等

健（検）診名	対象者	内容	実施場所
胃がん検診（バリウム）	35・40・45・50・55歳 ^{※1} 60歳以上 ^{※1}	胃レントゲン撮影（バリウム）	保健センター ^{※2}
胃がん検診（内視鏡） ^{※3}	60・62・64・66・68歳	胃内視鏡検査（胃カメラ）	指定医療機関 ^{※5}
大腸がん検診	35・40・45・50・55歳 60歳以上	便潜血検査（2日法）	指定医療機関 ^{※5}
子宮頸がん検診	35・40・45・50・55・60・65歳の女性 ^{※4}	子宮頸部細胞診検査	指定医療機関 ^{※5}
歯周病検診	35・40・45・50・60・70歳	口腔内診査、特定部位の歯周ポケット測定	指定医療機関 ^{※5}
肝炎ウイルス検診	40歳 ※市国民健康保険に加入されている方は「特定検診」と同時実施	血液検査	指定医療機関 ^{※5}
結核検診	60歳以上 ※市国民健康保険に加入されている方は「特定検診」、75歳以上の方は「後期高齢者検診」と同時実施	胸部レントゲン撮影	指定医療機関 ^{※5}
健康増進検診	35歳 40歳以上の無保険者	血圧・尿・血液検査・心電図ほか	指定医療機関 ^{※5}

◇受診期間は4か月間です。延長はできませんので、医療機関へは早めのご予約をお勧めします。

●スケジュール

・対象者には個別に通知します。通知の届かない方はご連絡ください。
・市国民健康保険に加入されている40～74歳の方の「特定検診」、75歳以上の方の「後期高齢者検診」の通知も下記の日程で発送します。
【担当 保険年金課】 特定検診に関すること：☎042-481-7566 後期高齢者検診に関すること：☎042-481-7148

【担当 保険年金課】 特定保健に関すること：☎042-481-7566 後期高齢者保健に関すること：☎042-481-7148											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4・5・6月生まれの方											
4月末 受診済	受診期間：5～8月										
7・8・9月生まれの方											
	6月末 受診済	受診期間：7～10月									
10・11・12月生まれの方											
		8月末 受診済	受診期間：9～12月								
1・2・3月生まれの方											
			10月末 受診済	受診期間：11～2月							

- 乳がん検診41歳，子宮頸がん検診21歳の無料クーポン券の送付
- がん検診の結果が要精密となった方の受診確認及び未受診者の受診勧奨

申込み制 健（検）診（★印については上記の個別通知対象者は申込みできません）

健（検）診名	対象者	内容	費用	定員	実施場所	申込方法	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
★胃がん検診 （バリウム）	30～59歳 ^{※1}	胃レントゲン撮影 （バリウム）	無料	500人	指定医療機関 ^{※5}	市報で内容を 鑑別後健康推 進課ヘンター ネットまたは ハガキで													
胃がん検診 （内視鏡）	50・52・54・ 56・58歳	胃内視鏡検査 （胃カメラ）	2000円 ^{※6}	500人															
★大腸がん 検診	30～59歳	便潜血検査 （2日法）	無料	1000人															
★歯周病 検診	20～59歳	口腔内診査、 特定部位の歯周 ポケット測定	無料	400人															
後期高齢者 歯科健診	76～80歳	口腔内診査、 そしゃく・えんげ 能力検査	無料	100人															
前立腺がん 検診	50～70歳の男性	血液検査 （PSA検査）	1000円 ^{※6}	600人															
★子宮頸がん 検診	前年度未受診 の女性	①20～29歳 ②30歳以上	子宮頸部 細胞診検査	無料	2500人	市報や送付する 案内等で内容を 鑑別後、指定の 申し込み方法で	①【申込み期間】6月上旬～7月上旬	②【申込み期間】8月20日市報掲載後～9月中旬予定	【受診期間】9月～11月	【受診期間】12月～3月中旬									
乳がん検診	前年度未受診で40歳 以上の女性（東京都予 防医学協会又は50歳以 上の女性）	マンモグラフィ	1500円 ^{※6}	各月 150人	調布病院	市報で内容を鑑 別後健康増進課 へ電話または ファクス	【申込み期間及び受診期間】満年 （比較的予約がとれやすい1～6月の受診をお勧めします）												
				各月 100人	飯野病院														
				各月 200人	調布東山病院														
				各月 100人	東山クリニック ウェルビザザ山川														
			年間 50人	東京都予防医学協会	市報で内容を鑑 別後健康増進課 へ電話	【申込み期間】年3回 【受診期間】市報をご確認ください													
肺がん検診	40歳以上	胸部レントゲン 撮影 低線量胸部CT（喫 煙指数 ^{※7} が高い 50歳以上の方）	無料	1000人	保健センター ^{※2}	市報で内容を 鑑別後健康推 進課ヘハガキ またはインテ ルネットで	【申込み期間及び受診期間】 6月5日市報掲載予定												
胃がんリ スク検査	過去に市の胃がんリス ク検査を受けたことが ない40～49歳	血液検査 （ヘリコバクター ピロリ抗体・ペ プシノゲン）	無料	500人	指定医療機関 ^{※5}	市報で内容を 鑑別後健康推 進課ヘハガキ またはインテ ルネットで	【申込み期間】市報掲載後～2月末予定（定員に達し次第受付終了） 【受診期間】受診券交付後最大3か月間												
★肝炎 ウイルス 検診	過去に肝炎ウイルス検 診を受けたことがない 41歳以上の方 ^{※8}	血液検査	無料	制限 なし	指定医療機関 ^{※5}	健康増進課ヘ電 話	【申込み期間】満年 【受診期間】受診券交付後最大2か月間												
骨粗し ょう 症検診	65・70歳の女性	骨密度測定	無料	120人	保健センター ^{※2}	対象者に送付す る案内に添付	対象者には個別通知にご案内を同封												
特別項目 外健診	40歳以上75歳未満で 市国民健康保険以外 の健康保険に加入の 方 ^{※9}	心電図・血液検査 （貧血等） 胸部レントゲン （50～59歳）	無料	150人	指定医療機関 ^{※5}	市報で内容を鑑 別後健康増進課ヘ ハガキまたはイン テルネット													

※1 前年度胃がん検診（内視鏡）を受診した方を除く ※2 調布市文化会館たづくり西郷1階 ※3 自己負担金として2000円がかかります（生活保護受給世帯又は中国残留邦人等支援給付世帯は免除）
※4 前年度受診した方を除く ※5 指定医療機関は健（検）診のご案内に同封します。 ※6 生活保護受給世帯又は中国残留邦人等支援給付世帯は免除
※7 1日の喫煙本数×喫煙年数が600以上の方。 ※8 39歳以下の方は東京都多摩市中保健所ホームページでご確認ください。
※9 調布市国民健康保険に加入されている方は、特定検診と同時に個別通知しますので、お申込みいただく必要はありません。



5 がん早期発見の取組（第11条関係）

●受診状況（個別通知による検診）

検診名	年度	通知者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	検診結果(人)			発見 患者数 (人)	発見率 (%)
					異常なし	要精密	その他		
胃がん (集団) バリウム	4	18,221	1,287	7.1	928	25	334	0	0.00
	5	18,427	1,204	6.5	892	14	298	0	0.00
	6	18,032	1,051	5.8	780	12	259	0	0.00
胃がん (個別) バリウム	4	65,101	5,536	8.5	4,422	397	717	7	0.13
	5	65,878	4,909	7.5	3,732	315	862	4	0.08
	6	67,070	4,157	6.2	3,011	249	897	8	0.19
胃がん (個別) 内視鏡	4	12,161	1,735	14.3	89	120	1,526	6	0.35
	5	12,731	1,913	15.0	80	142	1,691	3	0.16
	6	13,349	2,041	15.3	1,889	147	5	5	0.24
大腸 がん	4	84,903	22,506	26.5	20,875	1,630	1	47	0.21
	5	86,046	22,166	25.8	20,623	1,543	0	36	0.16
	6	87,039	21,875	25.1	20,281	1,591	3	40	0.18
子宮 頸がん	4	11,500	2,320	20.2	2,253	65	2	0	0.00
	5	11,748	2,229	19.0	2,176	53	0	0	0.00
	6	11,956	2,221	18.6	2,191	30	0	2	0.09

※令和6年度事務報告書より

※胃がん（集団）は、50歳が集団（バリウム）又は申込みの内視鏡のいずれか選択できるため、通知者数が重複している。

※胃がん（個別）内視鏡対象年齢の60・62・64・66・68歳はバリウム又は内視鏡のいずれか選択できるため、通知者数が重複している（66・68歳は令和2年度から実施）。



5 がん早期発見の取組（第11条関係）

●受診状況（申込制による検診）

検診名	年度	通知者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	検診結果(人)			発見 患者数 (人)	発見率 (%)
					異常なし	要精密	その他		
胃がん バリウム	4	255	165	64.7	111	19	35	0	0.00
	5	205	124	60.5	89	11	24	0	0.00
	6	1,459	643	44.1	494	11	138	0	0.00
胃がん 内視鏡	4	439	342	77.9	14	20	308	1	0.29
	5	484	381	78.7	23	26	332	0	0.00
	6	971	719	74.1	693	26	0	1	0.14
大腸 がん	4	488	372	76.2	348	24	0	0	0.00
	5	440	325	73.9	305	20	0	0	0.00
	6	2,491	1,350	54.2	1,275	75	0	1	0.07
子宮 頸がん	4	2,516	1,405	55.8	1,353	52	0	0	0.00
	5	2,036	1,211	59.5	1,172	39	0	0	0.00
	6	4,069	2,357	57.9	2,294	63	0	1	0.04
前立腺 がん	4	232	190	81.9	90	11	89	1	0.53
	5	254	198	78.0	99	10	89	0	0.00
	6	720	523	72.6	267	30	226	0	0.00
乳がん	4		2,105		1,915	171	19	22	1.05
	5		2,215		2,065	135	15	8	0.36
	6		2,656		2,464	192	0	13	0.49
肺がん	4	555	476	85.8	372	16	88	1	0.21
	5	578	477	82.5	365	13	99	0	0.00
	6	480	402	83.8	296	7	99	1	0.25

※令和6年度事務報告書より

※受診率は、申込者数に対する受診者数の割合。検診結果の「その他」は、がん以外の疾患

※子宮頸がん及び乳がん検診は、がん検診推進事業の対象者は含まない。



5 がん早期発見の取組（第11条関係）

●受診状況（「がん検診推進事業」による検診）

検診名	年度	通知者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	検診結果(人)			発見 患者数 (人)	発見率 (%)
					異常なし	要精密	その他		
乳がん (41歳)	4	1,696	293	17.3	262	28	3	2	0.68
	5	1,667	313	18.8	287	26	0	2	0.64
	6	1,735	336	19.4	311	25	0	0	0.00
子宮 頸がん (21歳)	4	1,134	65	5.7	62	3	0	0	0.00
	5	1,204	72	6.0	69	3	0	0	0.00
	6	1,225	78	6.4	76	2	0	0	0.00

※令和6年度事務報告書より

※受診率は、申込者数に対する受診者数の割合。検診結果の「その他」は、がん以外の疾患

※子宮頸がん及び乳がん検診は、がん検診推進事業の対象者は含まない。



5 がん早期発見の取組（第11条関係）

●啓発の取組

取組内容	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(実績)	令和7年度(取組状況)
ピンクリボンキャンペーンの実施(乳がん普及啓発)	展示・啓発グッズ配架等実施に加え啓発動画も放映 文化会館たづくり東館エントランスホール, トリエ京王調布A館地下1階コンコース	継続(10月) トリエ京王調布A館地下1階コンコース, 市民スポーツまつり会場	継続(10月) トリエ京王調布A館地下1階コンコース, 市民スポーツまつり会場 市職員用缶バッジ作製・配布	継続(10月) トリエ京王調布A館地下1階コンコース, 市民スポーツまつり会場 市職員用缶バッジ作製・配布	継続(10月予定)
子宮頸がん検診の受診率向上の取組					
子宮頸がん啓発キャンペーンの実施	—	展示・動画放映グッズ配架等実施(8月) トリエ京王調布A館地下1階コンコース, 市役所2階デジタルサイネージ	継続(8月) トリエ京王調布A館地下1階コンコース, 調布駅前広場	継続(6月) トリエ京王調布A館地下1階コンコース 調布駅前広場	継続(6月) トリエ京王調布A館地下1階コンコース, 市役所2階デジタルサイネージ
はがきによる受診勧奨	—	新規QRコード付はがきでの子宮頸がん検診受診勧奨を開始(25-29歳)	拡充 受診勧奨継続 年齢拡大(22・25-29歳)	継続	継続 21歳以外の20代すべてへ 年齢拡大
HPVセルフチェックキットを活用した受診勧奨モデル事業	—	新規 HPVセルフチェックキットを活用した受診勧奨モデル事業開始(23・24歳)	拡充 モデル事業継続 年齢拡大(20・23・24歳)	継続 令和6年度をもって モデル事業終了	—
「調布市とアフラックのがん啓発・がん検診の受診率向上に向けた包括的連携に関する協定書」に基づく共同事業 平成22年2月に締結した協定に基づき、調布市とアフラックの協働により、がんに関する啓発及び受診率向上に向けた各種事業や取組を実施					
共同事業による啓発取組	—	拡充 大学生向け乳がん等検診受診啓発動画作成・公開	継続 啓発動画公開継続 大学との連携検討	拡充 産学官連携がん啓発プロジェクト始動 チラシ「がん通信」全戸配布 ※再掲	継続 プロジェクトの成果物を使用した普及啓発 チラシ「がん通信」全戸配布 ※再掲
がん検診の啓発	受診券送付時に啓発文書同封	継続	継続	継続	継続

5 がん早期発見の取組（第11条関係）



●ピンクリボンキャンペーンの実施

トリエ京王調布A館地下1階コンコースで、乳がんに関する普及啓発活動として、啓発映像の放映及び展示、啓発グッズの配架を行った。

●子宮頸がん検診の受診率向上の取組

子宮頸がん検診の受診率向上のため、若年層や罹患率の高い年代を対象に、キャンペーンの実施や個別通知による啓発、HPVセルフチェック検査キットを活用したモデル事業（令和4年度から令和6年度）など、各種の取組を実施した。

●「調布市とアフラックのがん啓発・がん検診の受診率向上に向けた包括的連携に関する協定書」に基づく共同事業

調布市とアフラックの協働により、がんに関する啓発及び受診率向上に向けた各種事業や取組を実施した。

①「調布市民スポーツまつり」での普及啓発

②子宮頸がん啓発キャンペーンに合わせて、がん検診啓発チラシや動画をアフラックと共同作成

③令和4年度に引き続き女性がん検診受診啓発の動画を調布市公式YouTubeで公開するとともに、白百合女子大学及び東京外国語大学ホームページでも動画情報を掲載した。

④令和5年度から、がん対策に向けさらなる効果的な施策の実現を図るため、産学官の連携によるプロジェクトを設置。

子宮頸がん検診受診啓発動画を作成し、調布市公式YouTubeで公開するとともに、白百合女子大学、東京慈恵会医科大学及び電気通信大学等のホームページでも動画情報を掲載した。

5 がん早期発見の取組（第11条関係）



●ピンクリボンキャンペーン

▼トリエ京王調布A館地下1階コンコース、市役所2階でグッズ・チラシを配架



●調布市民スポーツまつり（令和5年10月10日開催） （令和6年10月14日開催）

▼来場者にグッズ・チラシ配布



●市職員啓発用缶バッジ



5 がん早期発見の取組（第11条関係）



HPVセルフチェック事業(子宮頸がんリスク検査)

【対象】

令和4年度 23・24歳
令和5年度(拡充) 20・23・24歳
令和6年度(継続) 20・23・24歳



【申込～結果通知の流れ】

- ①スマートフォン等から申込(メールアドレス登録)
- ②委託事業者が検査キットを郵送
- ③自宅で検査を行い, キットを返送
- ④登録されたメールアドレス宛に検査結果を通知

手続の流れ



大学生向け 検診受診啓発動画作製・公開 (乳がん・子宮頸がん検診)

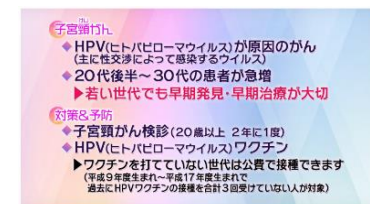
正しい知識や早期発見の大切さを伝えるため、白百合女子大学協力のもと、動画を作製し、YouTubeの調布市公式アカウントで公開

【ホームページ公開等 協力大学】
白百合女子大学・東京外国語大学

▼乳がん検診受診啓発動画



▼子宮頸がん検診受診啓発動画



5 がん早期発見の取組（第11条関係）



産学官連携がん啓発プロジェクト 子宮頸がん検診受診啓発動画作製・公開

令和5年度から、がん対策に向けさらなる効果的な施策の実現を図るため、産学官の連携によるプロジェクトを設置。調布市相互友好協力協定締結大学及び学生と、調布市(C)、市内民間企業(アフラック生命保険会社(A)・JCOM株式会社(J))が協働して、例年受診率が低い若年層の子宮頸がん検診の受診率向上に向けた広報・啓発の施策を検討し、広く市民へ公開することにより、がん検診の受診率向上を図るものとして、30秒動画を製作。令和6年12月1日からYouTubeの調布市公式アカウントで公開。

【ホームページ公開等 協力大学】
白百合女子大学・東京慈恵会医科大学・
電気通信大学 等



○啓発動画(30秒)



○啓発ポスター



5 がん早期発見の取組（第11条関係）

●調布市がん検診体制あり方検討会の設置（令和5年9月～令和7年1月）

調布市がん対策の推進に関する条例に基づく総合的ながん対策を推進し、市民の健康増進に寄与するために設置

【所掌事項】

- ・対策型がん検診の実施方法に関すること
- ・精度管理・事業評価に関すること
- ・検診票に関すること ほか

【構成】

関係機関・職種等		人数
有識者 (国際医療福祉大学大学院)	教授(医療研究科公衆衛生学専攻)	1人
調布市医師会	医師(副会長・理事・会員)	4人
福祉健康部健康推進課	保健師	1人

実績は令和5年度，6年度事務報告書を参照



6 がん患者への支援（第12条関係）

- 骨髄移植ドナー支援事業（助成金）** 実績は令和5年度，6年度事務報告書を参照
骨髄・末梢血管細胞移植が必要な患者に骨髄等を提供するドナー及びドナーを雇用する事業者の支援制度を継続した。
- 「調布市とアフラックのがん啓発・がん検診の受診率向上に向けた包括的連携に関する協定書」に基づく共同事業**
 - ①調布市職員による小児がん患者支援募金活動 【実施日】令和5年10月 2日～10月16日（令和5年度）
令和6年10月21日～11月 5日（令和6年度）
小児がんの子どもたちとその家族への支援として，調布市職員や福祉関係団体等を対象に募金の呼び掛けを行った。
 - ②小児がん経験者・がん遺児奨学金制度の街頭募金
【実施日・場所】令和5年11月 2， 6日 調布駅前広場（令和5年度）
令和6年10月17，18日 調布駅前広場（令和6年度）
小児がん経験者と，がんで親を亡くした高校生支援のため，アフラック生命保険株式会社社員と調布市職員で募金の呼びかけを行った
- 地域包括支援センター事業（福祉健康部高齢者支援室）**
地域包括支援センターにおいて，在宅療養を希望する方へ必要なサービスの利用調整や相談を行った。
- ちょうふ在宅医療相談室（福祉健康部高齢者支援室）**
病院からの退院を前にあるいは通院が困難になった際に，訪問診療のできる医療機関を紹介した。
- がん患者ウィッグ・補整具購入等費用助成事業** 実績は令和5年度，6年度事務報告書を参照
療養生活の質の向上を図るため，がんの治療に伴う外見の悩みを抱えている方に，外見の変化を補うためのウィッグ・補整具購入経費の助成を行った。

6 がん患者への支援（第12条関係）



●年度別状況

取組内容	令和3年度 (実績)	令和4年度 (実績)	令和5年度 (実績)	令和6年度 (実績)	令和7年度 (取組状況)
骨髄移植ドナー支援事業	ドナーとドナーを雇用する事業者の支援を実施 助成7件	継続 助成0件	継続 助成1件	継続 助成3件	継続
「調布市とアフラックのがん啓発・がん検診の受診率向上に向けた包括的連携に関する協定書」に基づく共同事業					
市職員の小児がん患者 支援募金活動	市職員・福祉関係団体等を対象に募金の呼び掛け (10/1-10/15)	継続 (10/3-10/17)	継続 (10/2-10/16)	継続 (10/21-11/5)	継続
小児がん経験者・がん遺児奨学金制度の街頭募金	中止 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため	実施 1日のみ(11/10)	拡充 日数・時間を拡充 2日間(11/2・6)	継続 2日間 (10/17・18)	継続
地域包括支援センター事業 【高齢者支援室】 【地域包括支援センター】	在宅療養を希望する方へ必要なサービスの利用調整・相談を実施	継続	継続	継続	継続
ちょうふ在宅医療相談室 【高齢者支援室】 【調布市医師会】	訪問診療の可能な医療機関の紹介を実施	継続	継続	継続	継続
ウィッグ・補整具購入等費用助成事業	—	購入費の一部助成を開始 助成58件 (ウィッグ50件・ 胸部補整具8件)	継続 助成80件 (ウィッグ64件・ 胸部補整具16件)	拡充 上限額を引き上げ 助成118件 (ウィッグ94件・ 胸部補整具24件)	継続



6 がん患者への支援（第12条関係）

●がん患者のウィッグ・補整具購入等費用助成事業 【助成額】

ウィッグや補整具に要する費用(購入・リース実費額)のうち上限10,000円

※令和4年4月1日以降の購入等分が助成対象（消費税含む）

※申請が可能な期間は購入等日(領収書等に記載の日付)の翌日から1年以内

※令和6年度から上限30,000円に引き上げ

●若年がん患者在宅療養支援事業 【対象者】

以下の要件を全て満たす方

(1) サービス利用時に40歳未満で市内在住の方

※住民登録している方

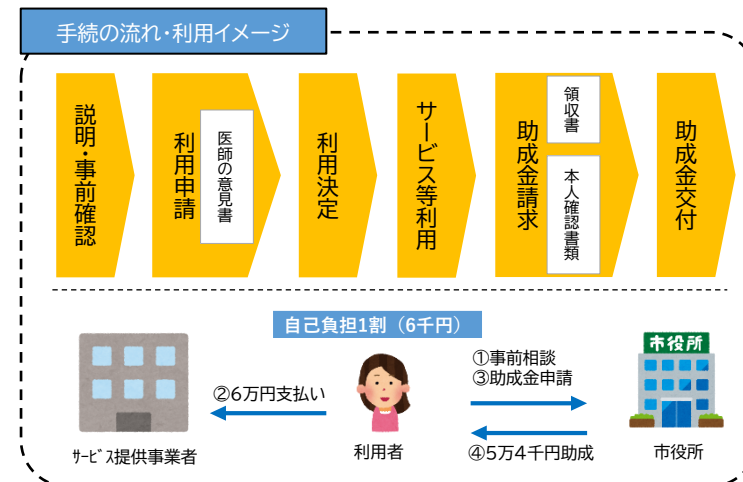
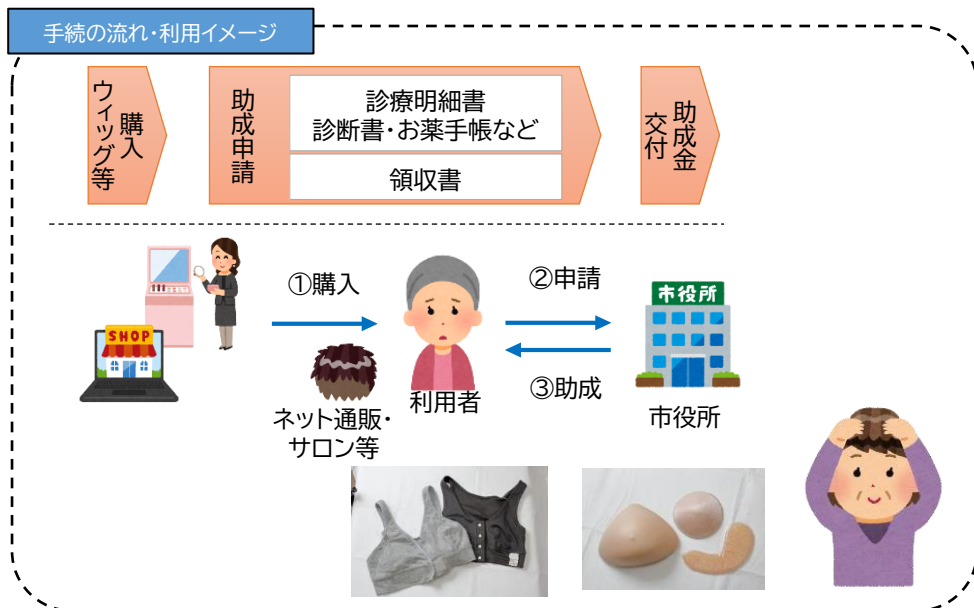
(2) がん患者で在宅生活の支援や介護が必要な方

※介護保険制度においてがんを原因として認定を受ける場合と同等の状態と医師が判断した方

(3) 他の事業で同等の支援を受けることができない方

▼下記のサービス利用や用具の貸与・購入にかかる費用の9割を助成(生活保護世帯は自己負担なし)

	サービス等の種類	利用料等の基準額	自己負担
居宅サービスの利用	居宅サービス(例)	1ヶ月あたり6万円 (利用料や賃借料の合計)	1割
	訪問介護		
	訪問リハビリテーション		
	訪問入浴介護		
	福祉用具の貸与	1年あたり10万円	
	福祉用具の購入		



6 がん患者への支援（第12条関係）



●年度別状況（支援事業）

取組内容	令和3年度 (実績)	令和4年度 (実績)	令和5年度 (実績)	令和6年度 (実績)	令和7年度 (取組状況)
若年がん患者在宅療養支援事業	—	—	40歳未満のがん患者の在宅介護サービス利用、福祉用具貸与等の費用の一部助成を開始（令和5年4月～） 助成9件	継続 （令和6年4月～） 助成7件	継続
関係機関と連携した、がん患者・家族の支援に関する検討	—	—	調布市がん患者・家族の支援施策に関する検討会の設置（令和5年4月～）	継続	継続
相談・支援体制の検討・整備	—	—	協定締結企業等との連携によるがん相談サポート事業（モデル事業）を開始（令和5年10月～令和6年3月）	がん相談サポート事業本格実施（令和6年8月末～令和7年3月）	継続

●調布市がん患者・家族の支援施策に関する検討会

関係機関・職種等		人数
調布市医師会	医師（副会長・理事）	3人
慈恵第三病院	医師（医療連携・緩和医療）	2人
訪問看護ステーション	看護師（協議会推薦）	1人
アフラック生命保険	医療職・事務職（幹部職員）	2人
がん経験者	市職員・アフラック社員	2人
福祉健康部	事務・保健師	2人

●がん相談サポート事業（モデル事業・本格実施）

▼令和5年度



▼令和6年度





7 がん患者への就労・就学支援（第13条関係）

●国や東京都が実施しているがん患者への支援体制についての情報収集

市ホームページ等での公表に向けて、患者数の少ない小児がんやAYA世代がんを中心に、情報収集を行った。

東京都小児・AYA世代がん診療連携協議会相談情報部会では、AYA世代のがん患者さん向けのリーフレットを作成している。

●年度別状況

取組内容	令和3年度 (実績)	令和4年度 (実績)	令和5年度 (実績)	令和6年度 (実績)	令和7年度 (取組状況)
国や東京都が実施しているがん患者への支援体制についての情報収集	市ホームページ等での公表に向けて、患者数の少ない小児がんやAYA世代がんを中心に、情報収集を実施	継続	情報提供開始 (市ホームページ リニューアルに合わせた情報提供の充実を予定)	継続	継続
がん予防・仕事と治療の両立に関する知識の普及の実施			厚生労働省 「がん対策推進企業アクション推進パートナー企業」登録(市役所・市職員向けの取組)	継続	継続 「治療と仕事の両立支援セミナー」 (令和7年9月予定)
【再掲】 相談・支援体制の検討・整備			がん相談サポート事業(モデル事業)の中で、就労等に関する相談・サービス紹介を開始 (令和5年10月～令和6年3月)	がん相談サポート事業の本格実施(令和6年8月～令和7年3月)	継続 (令和7年4月～)



8 在宅療養者への支援（第14条関係）

- 若年がん患者在宅療養支援事業 ※再掲
- 地域包括支援センター事業（福祉健康部高齢者支援室） ※再掲
- ちょうふ在宅医療相談室事業（福祉健康部高齢者支援室）※再掲

●年度別状況

取組内容	令和3年度 （実績）	令和4年度 （実績）	令和5年度 （実績）	令和6年度 （実績）	令和7年度 （取組状況）
【再掲】 若年がん患者在宅療養支援 事業	—	—	40歳未満のがん患者の在 宅介護サービス利用、 福祉用具貸与等の費用の 一部助成を開始 （令和5年4月～） 助成9件	継続 （令和6年4月～） 助成7件	継続
【再掲】 地域包括支援センター事業 【高齢者支援室】 【地域包括支援センター】	在宅療養を希望する方へ 必要なサービスの利用調 整・相談を実施	継続	継続	継続	継続
【再掲】 ちょうふ在宅医療相談室 【高齢者支援室】 【調布市医師会】	訪問診療の可能な医療機 関の 紹介を実施	継続	継続	継続	継続

9 令和5・6年度の評価と今後の課題



(1) 令和5・6年度の評価

- ・令和5年度に、新型コロナウイルス感染症が第5類感染症となったため、引き続き、感染予防に留意しつつ、がん教育や予防のための取組を、従来の対面形式や教室型で再開することができた。
- ・対策型がん検診として、若年層や要精密者の更なる受診率の向上を目指して、国の指針に基づく、適切ながん検診の体制あり方に関する検討会を設置し、有識者の参加のもとで専門的見地から検討を進めた。
- ・対策型がん検診として、特に若年層の周知を行い、受診率向上に努めた。
- ・より市民にわかりやすく周知できるように、市ホームページのリニューアルに合わせた情報提供の充実を図った。
- ・情報の提供や受診率の向上においては、産学官連携を図りながら、映像・紙媒体の啓発資料の作成・配布や、キャンペーン実施など、新たなツール・機会を取り入れて実施した。



(2) 今後の取組

- ・対策型がん検診として、若年層や要精密者の更なる受診率の向上を目指して、国の指針に基づく、適切ながん検診の体制あり方に関する検討結果を踏まえて、実施方法等についての具体的な検討に着手する。
- ・調布市医師会や東京慈恵会医科大学附属第三病院など、関係機関の協力・連携の下、がん患者や家族への支援の充実を図る。
- ・がん検診の啓発のため情報発信において、産学官連携により、更なる効果的な啓発について検討する。
- ・令和7年度以降のがん対策に関する施策の実施状況の公表については、市ホームページや事務報告書など、他の媒体・資料の記載内容の充実を検討し、適時、より分かりやすく効果的・効率的な周知に努める。

※対策型がん検診：市町村が実施する検診で集団全体の死亡率減少を目的とする検診